北海道道南会の活動報告

北海道道南会副会長　三村寿雄

北海道道南会は設立55年を迎えようとしている歴史ある故郷会です。

9月13日（土）、ホテルラングウッドにて夏季懇親会を開催いたしました。当日は10時30分より約1時間30分、我が道南会の顧問でもある松田昇氏の講演「昭和の検察を語る」を企画いたしました。

松田昇氏は、元東京地検特捜部長でロッキード事件を中心に児玉誉士夫の取調べ担当、また1976年7月27日午前6時30分、目白台の田中邸に出向き、田中角栄を逮捕、東京地検まで連行し、取調べに当たった事は皆様もご存知の事と思います。

ロッキード事件で逮捕した田中角栄を取調べ中、2人は偶然連れション、用を足し終え手を洗っている時、隣で手を洗って濡れた手をティッシュで拭っている田中角栄にハンカチを渡した。

田中角栄は礼を言うとそのまま別れ、後日クリーニングされたハンカチと礼状を持った早坂茂三の訪問を受けた。検事と被告という逆の立場でも、お互い人間同士なのだと言うエピソード等、楽しい講演会でした。

12時から懇親会、薬袋会長の挨拶後3時間の懇親会に入り、会員である安保咲子さんの小唄、白扇の日本舞踊、恒例の函館港まつりを輪になり踊りお開きと成りました。

北海道道南会の行事、2月15日新年会兼総会、4月3日舎人公園での桜観会、6月6日堀切菖蒲園、7月26日ビアダイニング汐留での暑気払い、8月21日浅草公会堂でのニューオリンズジャズフェステ、9月13日夏季懇親会、11月14日横浜三渓園庭園鑑賞と中華街で美食堪能、12月6日両国花の舞での忘年会と会員の交流を深めています。

来年は会設立55周年に当たり、郷土訪問旅行も計画しています。

ロッキード事件捜査の思い出を語る、元東京地検特捜部長の松田昇さん

ニュース
連合会前会長伊野達哉氏
北海道倶楽部評議員副議長に就任

当連合会前会長の伊野達哉氏（岩内会会長）はこのほど、新組織に改組された公益社団法人・北海道倶楽部（松田昌士会長）の評議員に選ばれ、併せて副議長に就任しました。北海道倶楽部は、昭和37年に「道産子の会」として発足、その後、公益社団法人・北海道倶楽部に発展したもので、公益法人の見直しにより、審査の上、このほど新公益法人として認可されました。